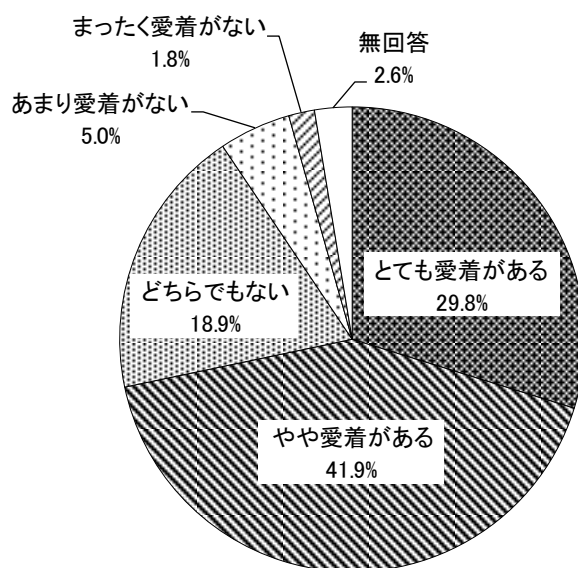


4 栃木県への愛着と誇りについて

(1) 栃木県に対する愛着

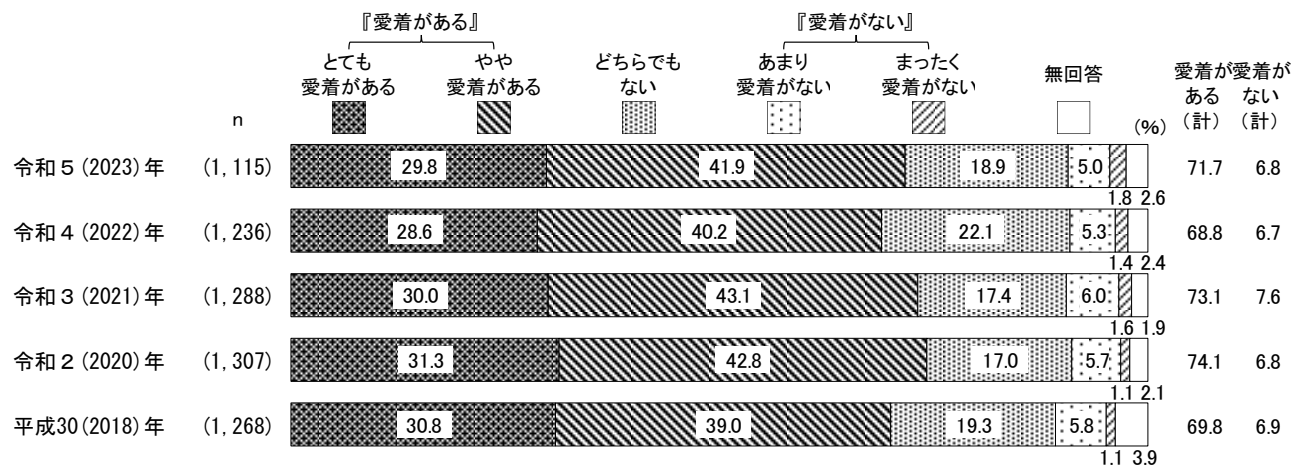
問13 あなたは、「栃木県」に対してどの程度愛着を感じていますか。次の中から1つ選んでください。 [n=1,115]

1	とても愛着がある	29.8%	4	あまり愛着がない	5.0%
2	やや愛着がある	41.9%	5	まったく愛着がない	1.8%
3	どちらでもない	18.9%		(無回答)	2.6%



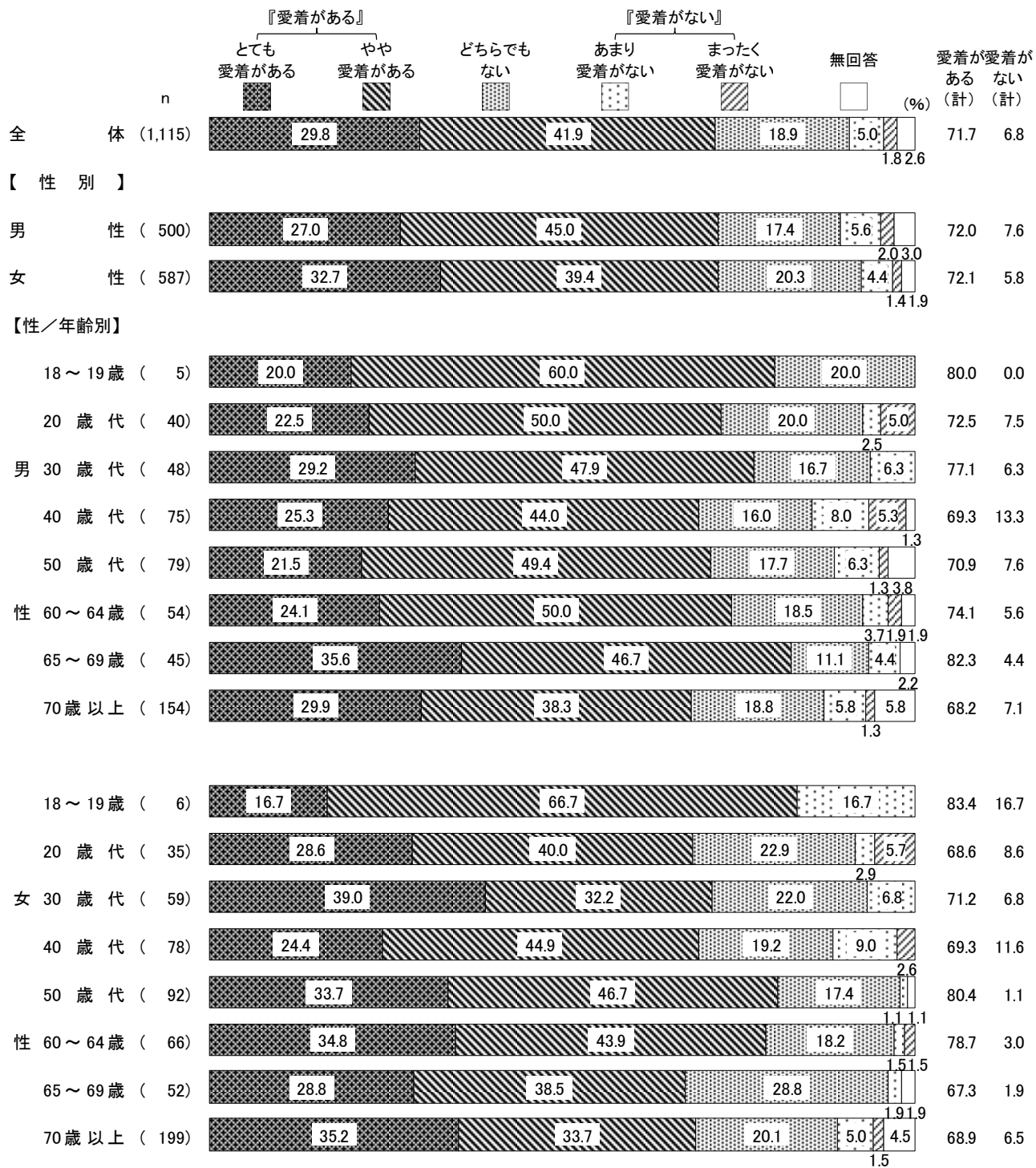
(n=1,115)

全体でみると、「とても愛着がある」(29.8%)と「やや愛着がある」(41.9%)の2つを合わせた『愛着がある』(71.7%)が7割強となっている。一方、「あまり愛着がない」(5.0%)と「まったく愛着がない」(1.8%)の2つを合わせた『愛着がない』(6.8%)が1割未満となっている。また、「どちらでもない」(18.9%)が2割近くとなっている。



過去の調査結果と比較すると、大きな傾向の違いはみられない。

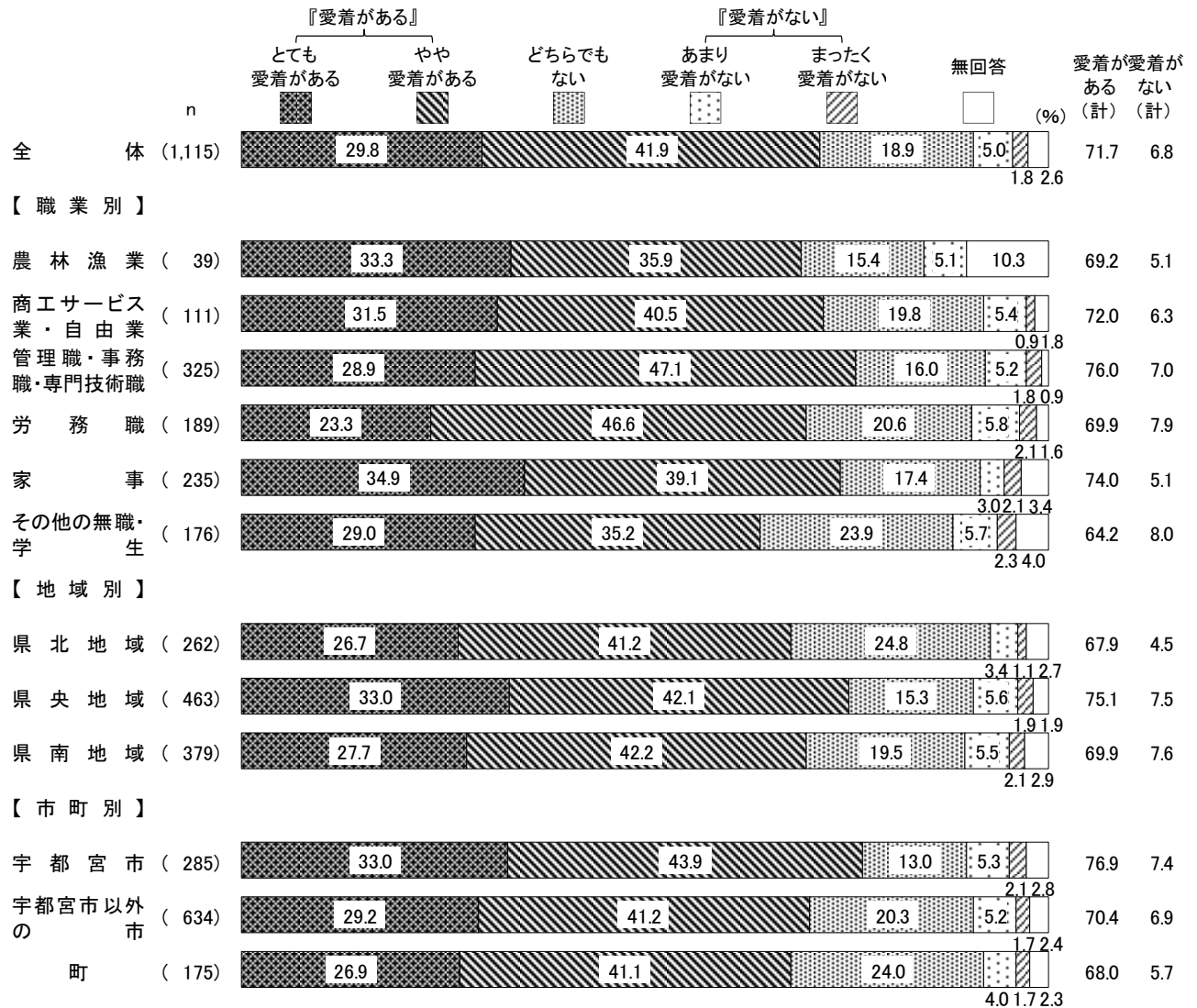
[性別・性／年齢別]



性別でみると、「とても愛着がある」では〈女性〉(32.7%)が〈男性〉(27.0%)より5.7ポイント高くなっている。「やや愛着がある」では〈男性〉(45.0%)が〈女性〉(39.4%)より5.6ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、『愛着がある』では〈男性65～69歳〉が82.3%と高くなっている。

[職業別・地域別・市町別]



職業別でみると、「とても愛着がある」では〈家事〉が34.9%と高くなっている。「やや愛着がある」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が47.1%と高くなっている。「どちらでもない」では〈その他の無職・学生〉が23.9%と高くなっている。

地域別でみると、「どちらでもない」では〈県北地域〉が24.8%と高くなっている。

市町別でみると、『愛着がある』では〈宇都宮市〉が76.9%と高くなっている。「どちらでもない」では〈町〉が24.0%と高くなっている。

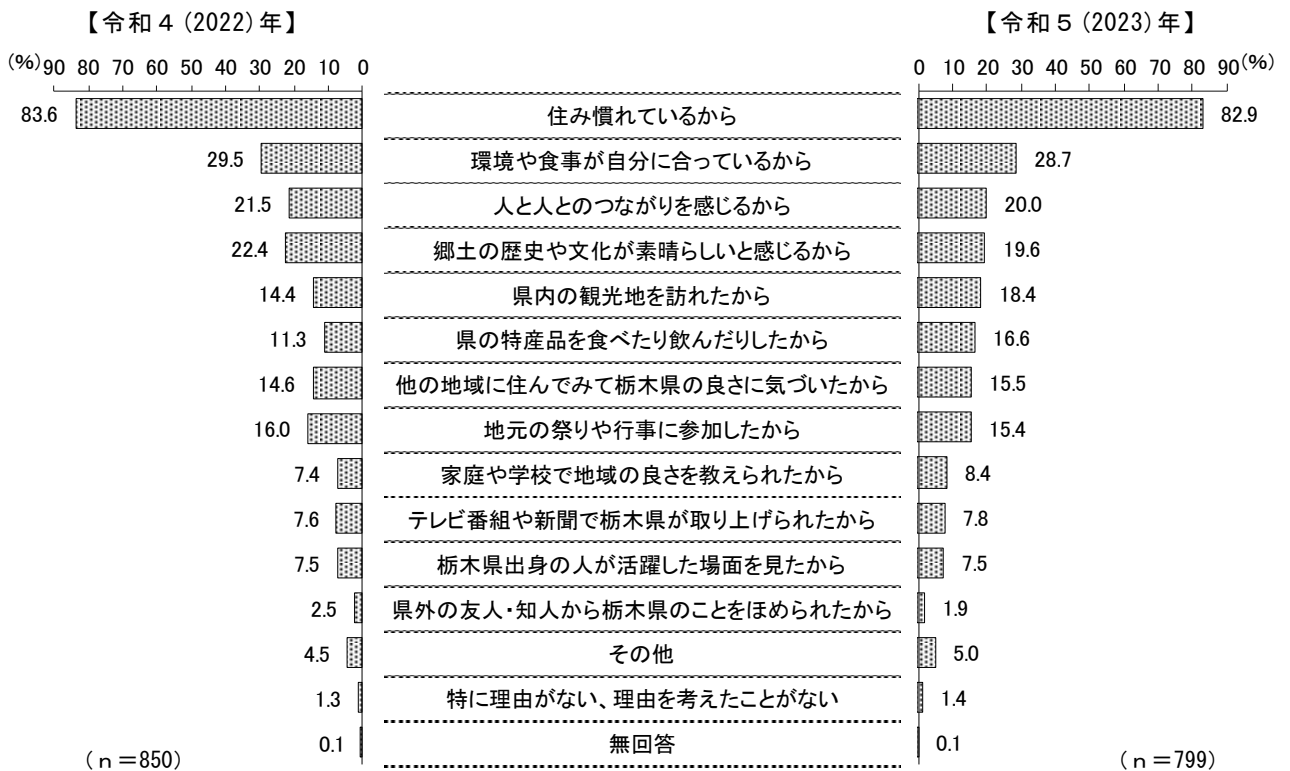
(2) 栃木県に愛着を感じる理由

(問13で選択肢「とても愛着がある」、「やや愛着がある」を選んだ方のみお答えください)

問14 あなたが愛着を感じる理由は何ですか。次の中からいくつでも選んでください。

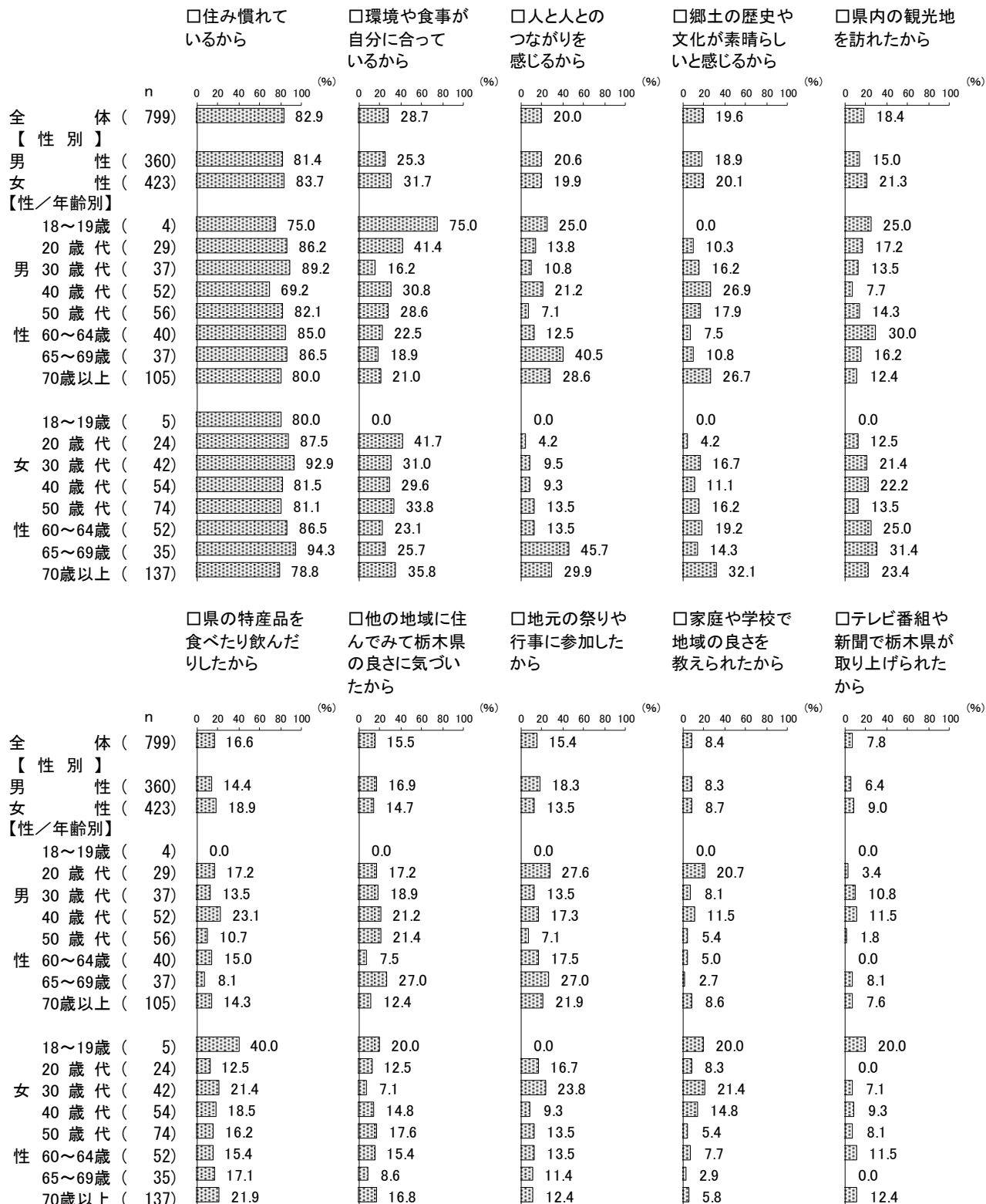
[n = 799]

1	地元の祭りや行事に参加したから	15.4%
2	家庭や学校で地域の良さを教えられたから	8.4
3	郷土の歴史や文化が素晴らしいと感じるから	19.6
4	他の地域に住んでみて栃木県の良さに気づいたから	15.5
5	住み慣れているから	82.9
6	人と人とのつながりを感じるから	20.0
7	環境や食事が自分に合っているから	28.7
8	テレビ番組や新聞で栃木県が取り上げられたから	7.8
9	県外の友人・知人から栃木県のことをほめられたから	1.9
10	県内の観光地を訪れたから	18.4
11	県の特産品を食べたり飲んだりしたから	16.6
12	栃木県出身の人が活躍した場面を見たから	7.5
13	その他	5.0
14	特に理由がない、理由を考えたことがない (無回答)	1.4 0.1



全体で見ると、「住み慣れているから」(82.9%)が8割強で最も高くなっている。前回(令和4(2022)年)の調査結果と比較すると、大きな傾向の違いはみられない。

[性別・性／年齢別] (上位10項目)

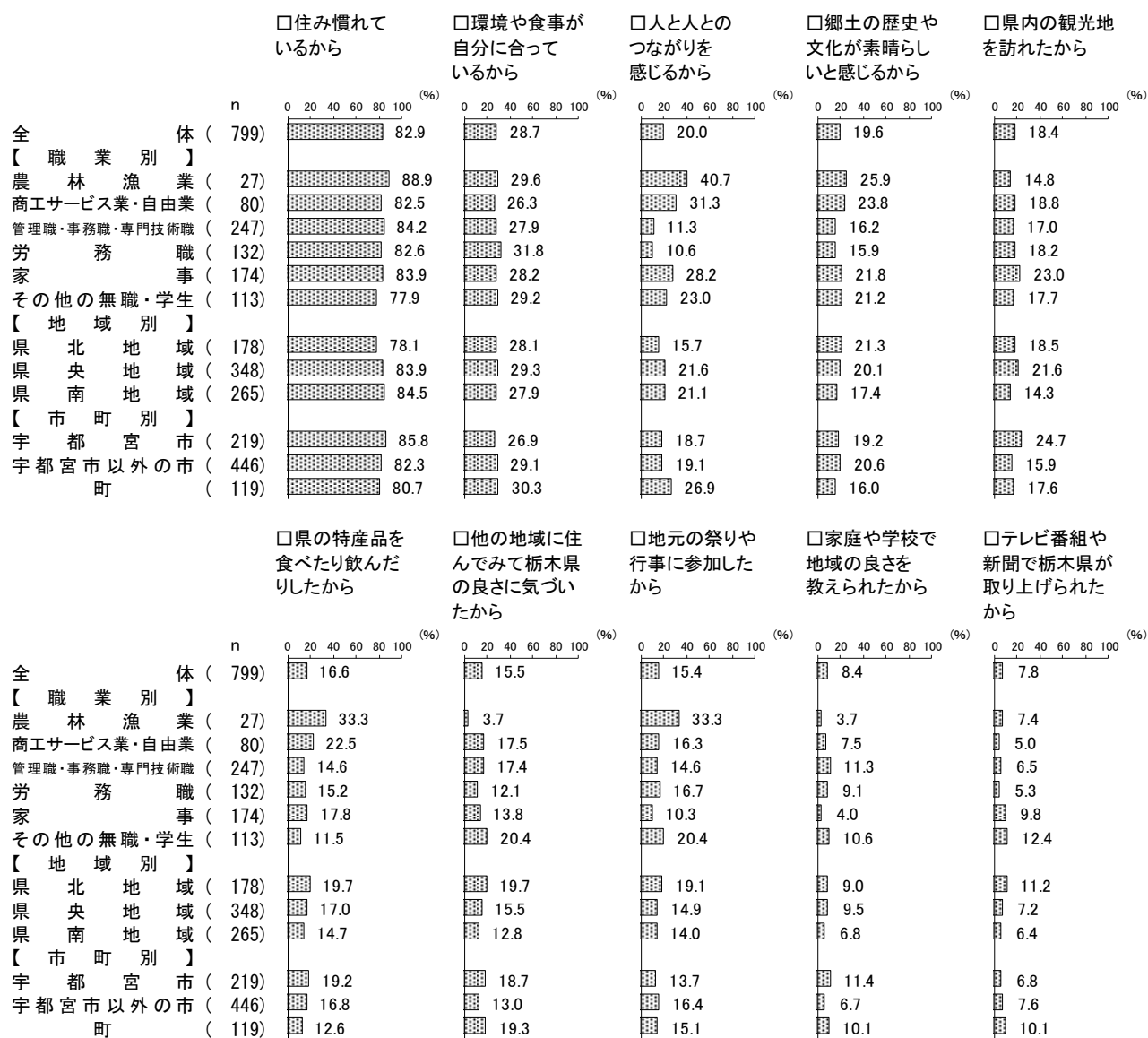


性別でみると、「環境や食事が自分に合っているから」では〈女性〉(31.7%)が〈男性〉(25.3%)より6.4ポイント高くなっている。「県内の観光地を訪れたから」では〈女性〉(21.3%)が〈男性〉(15.0%)より6.3ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、「住み慣れているから」では〈女性65~69歳〉が94.3%と高くなっている。「環境や食事が自分に合っているから」では〈女性20歳代〉が41.7%と高くなっている。「人と人とのつながりを感じるから」では〈女性65~69歳〉が45.7%と高くなっている。「郷土の歴史や文化が素晴らしい

いと感じるから」では〈女性70歳以上〉が32.1%と高くなっている。「県内の観光地を訪れたから」では〈女性65～69歳〉が31.4%と高くなっている。「他の地域に住んでみて栃木県の良さに気づいたから」では〈男性65～69歳〉が27.0%と高くなっている。「地元の祭りや行事に参加したから」では〈男性20歳代〉が27.6%と高くなっている。「家庭や学校で地域の良さを教えられたから」では〈女性30歳代〉が21.4%と高くなっている。

【職業別・地域別・市町別】（上位10項目）



職業別でみると、「住み慣れているから」では〈農林漁業〉が88.9%と高くなっている。「人と人とのつながりを感じるから」では〈農林漁業〉が40.7%と高くなっている。「郷土の歴史や文化が素晴らしいと感じるから」では〈農林漁業〉が25.9%と高くなっている。「県の特産品を食べたり飲んだりしたから」では〈農林漁業〉が33.3%と高くなっている。「地元の祭りや行事に参加したから」では〈農林漁業〉が33.3%と高くなっている。

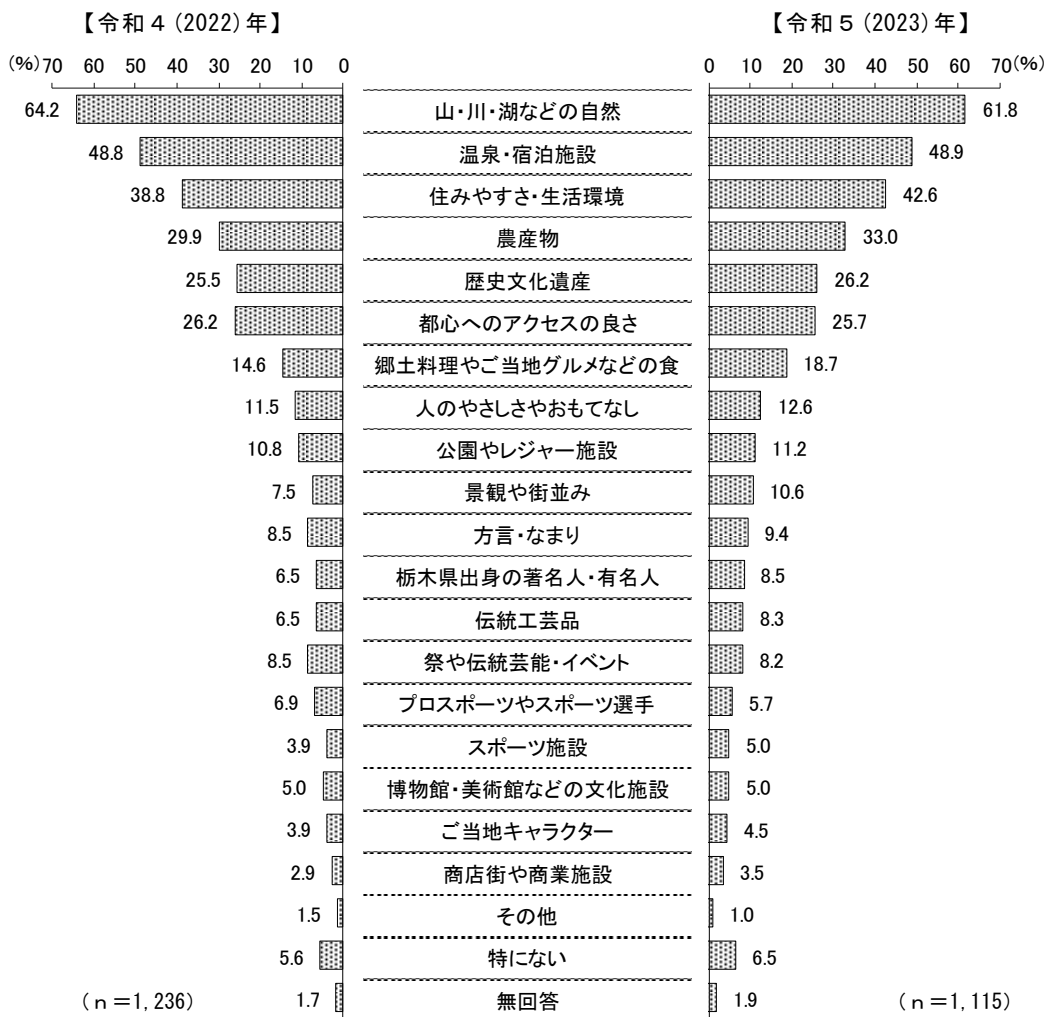
地域別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

市町別でみると、「人と人とのつながりを感じるから」では〈町〉が26.9%と高くなっている。「県内の観光地を訪れたから」では〈宇都宮市〉が24.7%と高くなっている。

(3) 栃木県の魅力あるものとして自慢できるもの

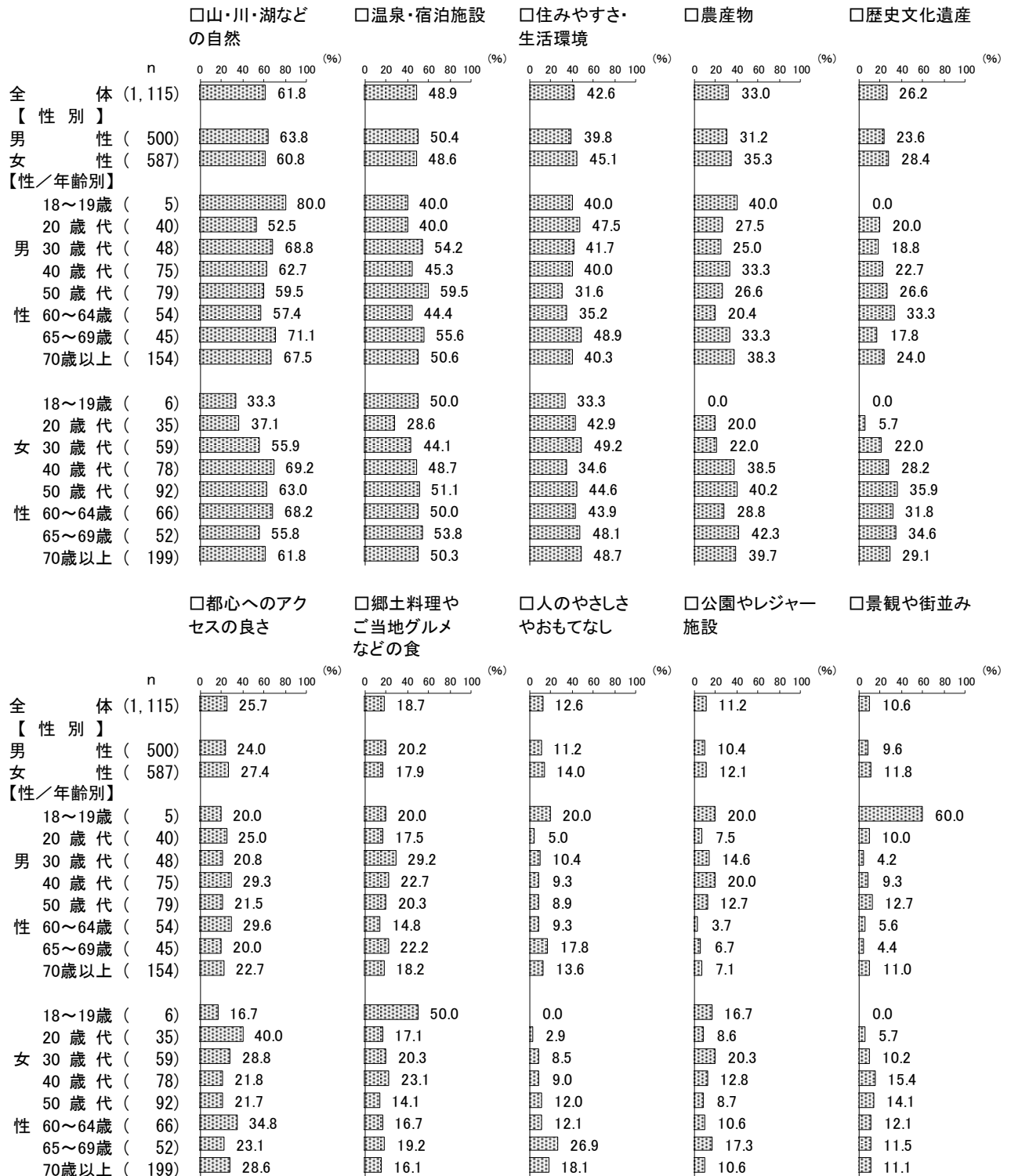
問15 あなたが栃木県の魅力として自慢できるものは何ですか。次の中からいくつでも選んでください。 [n=1,115]

1	山・川・湖などの自然	61.8%	12	郷土料理やご当地グルメなどの食	18.7%
2	温泉・宿泊施設	48.9	13	人のやさしさやおもてなし	12.6
3	公園やレジャー施設	11.2	14	方言・なまり	9.4
4	スポーツ施設	5.0	15	住みやすさ・生活環境	42.6
5	商店街や商業施設	3.5	16	都心へのアクセスの良さ	25.7
6	博物館・美術館などの文化施設	5.0	17	ご当地キャラクター	4.5
7	祭や伝統芸能・イベント	8.2	18	プロスポーツやスポーツ選手	5.7
8	景観や街並み	10.6	19	栃木県出身の著名人・有名人	8.5
9	歴史文化遺産	26.2	20	その他	1.0
10	伝統工芸品	8.3	21	特にない	6.5
11	農産物	33.0		(無回答)	1.9



全体で見ると、「山・川・湖などの自然」(61.8%)が6割強で最も高く、次いで「温泉・宿泊施設」(48.9%)、「住みやすさ・生活環境」(42.6%)、「農産物」(33.0%)の順となっている。前回(令和4(2022)年)の調査結果と比較すると、大きな傾向の違いはみられない。

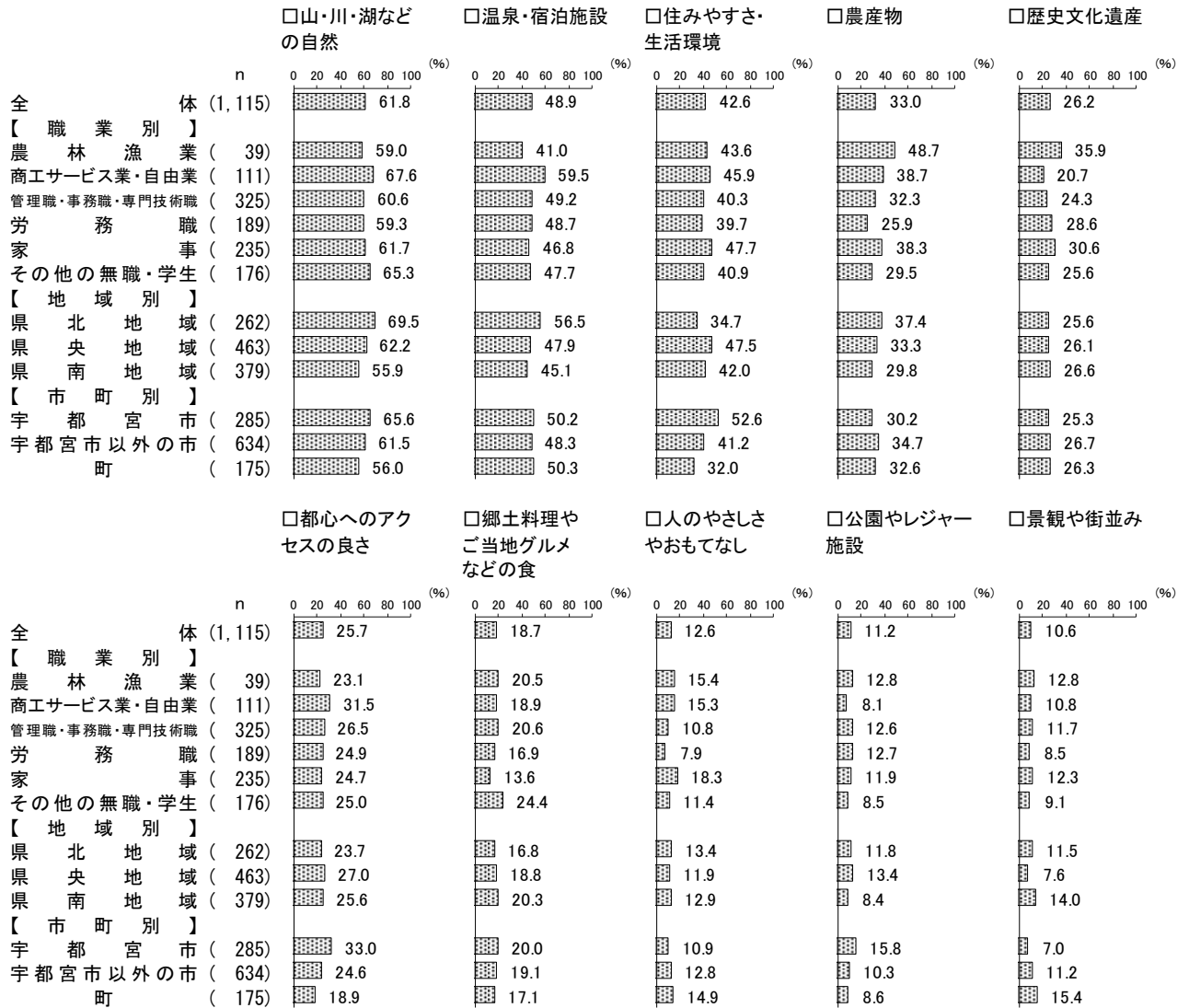
[性別・性／年齢別] (上位10項目)



性別でみると、「住みやすさ・生活環境」では〈女性〉(45.1%)が〈男性〉(39.8%)より5.3ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、「温泉・宿泊施設」では〈男性50歳代〉が59.5%と高くなっている。「都心へのアクセスの良さ」では〈女性20歳代〉が40.0%と高くなっている。「郷土料理やご当地グルメなどの食」では〈男性30歳代〉が29.2%と高くなっている。「人のやさしさやおもてなし」では〈女性65~69歳〉が26.9%と高くなっている。

[職業別・地域別・市町別] (上位10項目)



職業別でみると、「山・川・湖などの自然」では〈商工サービス業・自由業〉が67.6%と高くなっている。「温泉・宿泊施設」では〈商工サービス業・自由業〉が59.5%と高くなっている。「住みやすさ・生活環境」では〈家事〉が47.7%と高くなっている。「農産物」では〈農林漁業〉が48.7%と高くなっている。「歴史文化遺産」では〈農林漁業〉が35.9%と高くなっている。「都心へのアクセスの良さ」では〈商工サービス業・自由業〉が31.5%と高くなっている。「郷土料理やご当地グルメなどの食」では〈その他の無職・学生〉が24.4%と高くなっている。「人のやさしさやおもてなし」では〈家事〉が18.3%と高くなっている。

地域別でみると、「山・川・湖などの自然」では〈県北地域〉が69.5%と高くなっている。「温泉・宿泊施設」では〈県北地域〉が56.5%と高くなっている。

市町別でみると、「住みやすさ・生活環境」では〈宇都宮市〉が52.6%と高くなっている。「都心へのアクセスの良さ」では〈宇都宮市〉が33.0%と高くなっている。